

☆ 県立高校特色選抜とは？

先日、3年生と保護者を対象とした進学説明会が行われました。いよいよ進路決定の時期ですね。2年生も前半の私立高校入試の説明を聞きましたが、1年後の自分の姿は想像できたでしょうか。

さて、進学説明会の後半でも説明した県立高校の「特色選抜」について、少しお話したいと思います。特色選抜とは、各高校が示す「特色選抜に出願するための資格要件」を満たす人が、合格内定後に必ず入学することを条件に、面接や作文・小論文試験で受検する方法です。特色選抜が不合格の場合でも、約1か月後に行われる一般選抜（5教科学力試験）を受検することができます。

一見すると、受検しても不利益がないように見える特色選抜ですが、安易に「2回チャンスがある」と考えるのは危険です。志願理由書や面接で自分をアピールできるのか、不合格となった場合の精神的ショックや面接・作文対策に費やしてきた時間を一般選抜までに取り戻せるのか、などのデメリットについてもよく検討する必要があります。世の中学3年生の多くは、一般選抜に向けて1分1秒を無駄にせず、学力試験の勉強に費やしています。特色選抜を検討するポイントについてよく考えて、後悔のないようにしてほしいです。

〈特色選抜を検討する際のポイント〉

- ・志望校のアドミッショナルや特色選抜に出願するための資格要件に当てはまっているか。
- ・志望校についてよく理解しているか。入学したい強い意志はあるか。
- ・他の人にはないPRポイントがあるか。それをしっかりアピールできるか。
- ・面接や作文・小論文など、即興的に考えたり臨機応変に対応したりすることは得意か。
- ・1～3年の評定の合計や欠席・遅刻・早退の日数はどうか。
- ・特色選抜が不合格でも、一般選抜で十分に合格できる学力はあるか。（第1志望であればなおさら）



なお、令和9年度入試（現2年が3年時の入試）では、特色選抜が一般選抜と同日程になり、学力試験も実施されるなど、大幅な変更があります。県公式HPでは、すでに令和9年度の入試情報を確認することができます。

栃木県ホーム > 教育・文化 > 学校教育 > 高等学校 > 県立高校を目指す中学生のみなさんへ ～ハイスchoolがイット～

令和9（2027）年度入学者選抜特色選抜「入試情報」

学校名	学科名	特色選抜の定員の割合	特色選抜に出願するための資格要件	選抜の方法
鹿沼高	普通科	25%	<p>本校入学後、教科学習や特別活動などに探究的に取り組むことができる者で、次の(1)又は(2)のいずれかの要件を満たす者</p> <p>(1) 明確な進路目標を持ち、中学校時代にその実現に向けて学力向上につながる資格試験の上位の級（※1）や学術的コンテスト（※2）などに挑戦した経験を有し、本校入学後も進路実現に向けて意欲的に学習活動に取り組む意志のある者。</p> <p>※1 「資格試験の上位の級」とは、実用英語技能検定準2級など。</p> <p>※2 「学術的コンテスト」とは、「栃木県理科研究展覧会」、「栃木県英語スピーチコンテスト」など。</p> <p>(2) 中学校時代に、個人・団体を問わず、文化・スポーツ・社会活動のいずれかの分野において目標を持って継続的に取り組んだ者、あるいは、生徒会活動や部活動などにおいてリーダーシップを発揮した者で、本校入学後も学習と両立させ、それらの活動において目標を持って積極的に参加する意志のある者。</p>	<p>○学力検査</p> <p>※一般選抜で実施する学力検査をもってこれに代える。</p> <p>○学校独自検査</p> <p>「プレゼンテーション」</p> <p>※プレゼンテーションでは、「自己表現シート」を活用する。なお、プレゼンテーションは学校で指定した形式で行う。</p>

上記のHPを検索してみましょう。参考に鹿沼高校の令和9年度特色選抜入試を掲載しました。学校独自検査でプレゼンテーションを採用している高校が多いようです。11月18日に行われる中学校訪問高校説明会でも、興味がある高校の積極的な情報収集に努めましょう。

